

令和2年度地方教育行政功労者表彰 被表彰者一覧

氏 名	主 な 役 職	功 績 内 容
にし の り か 西野 里佳	福井県教育委員会委員 (H25.1.10 ～ 現在)	<p>平成25年1月10日に福井県教育委員会委員に任命されて以来、今日に至るまで、二期七年余の永きにわたり委員を務め、若さと教育に対する情熱をもってその職務に精励した。その温厚な人柄と強い責任感は万人の認めるところであり、平成26年11月から平成27年5月の間は教育委員長職務代理者として、また、令和元年10月から現在に至るまで教育長職務代理者として、その重責を十分に果たした。</p> <p>同人が委員を務めたこの七年余の間は、地方教育行政を取り巻く環境が大きく変化した時代であった。この間、奥越特別支援学校や坂井高等学校、高志中学校、武生商工高校の開校や、教育総合研究所の開所をはじめとした教育施設の再編整備に積極的に取り組み、福井県の学校教育の充実に大きく貢献した。</p> <p>平成25年度には、「福井県いじめ防止基本方針」の策定に尽力した。策定後は方針に基づき、思いやりや助け合いの心を持って行動できる子どもを育てる教育の推進に取り組んだほか、県内の各学校において、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を推進するべく、学校と家庭や地域との連携の強化を進めた。</p> <p>平成29年度には、これまでの県の課題であった英語を「聞く」、「話す」力を育むため、高校入試において、外部英語検定試験（実用英語検定）を活用したテストを導入する等、入試制度の見直しに取組み、英語教育のさらなる底上げを図り、子どもたちが高い目標に向けて、一人一人が持つ力を伸ばす教育を進めた。</p> <p>平成31年2月に策定した「福井県学校業務改善方針」及び「部活動の在り方に関する方針」に基づき、部活動指導員や学校運営支援員など外部人材の活用、部活動の休養日や学校閉庁日の設定などの取組を推進することにより、教員の多忙化や長時間勤務の改善を図った。</p> <p>令和元年度には、本県教育の目指す姿である「一人一人の個性が輝く、福井の未来を担う人づくり」という基本理念の下、学校教育をはじめ、家庭や地域の教育、生涯学習、文化芸術・スポーツの各分野における教育施策をまとめた「福井県教育振興基本計画」の策定に尽力し、子どもたちの個性を「引き出す教育」や、知的好奇心や探究心を持って学びを「楽しむ教育」の推進に取り組んだ。</p>

氏 名	主 な 役 職	功 績 内 容
<p style="text-align: center;">つじかわ てつや 辻川 哲也</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">辻</p>	<p style="text-align: center;">鯖江市教育委員会教育長 (H25. 4. 1 ～ 現在)</p>	<p>教育委員会委員および教育長として平成25年4月1日から平成29年3月31日までの四年にわたり、また、平成27年4月から施行された（改正）地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく、新しい教育委員会制度のもと、平成29年4月1日から現在に至るまで、教育委員会会議の適正な運営、教育委員会の活性化に取り組んだ。</p> <p>また、平成27年10月に策定された「鯖江市まち・ひと・しごと総合戦略」における「若者が住みたくなる・住み続けたくなるまちづくり」のその主役たるひとつづくりの取組みとして、教育が担う役割もますます重大であるとの認識から、積極的に教育行政の推進に取り組む、常に学び続ける姿勢で教育長としての資質の向上に努め、卓越した識見と確固たる教育信念をもってその才能を遺憾なく発揮し、鯖江市における学校教育の振興、社会教育の振興および教育文化の向上に多大な貢献をした。</p> <p>小中学校の耐震化工事を計画的に進め、学校施設の耐震化率100パーセントを達成した。また、小中学校のグラウンド整備や普通教室のエアコン設置、学校トイレの洋式化など、学校施設の長寿命化対策および児童生徒の安心で快適な教育環境の向上に尽力した。</p> <p>地場産業の魅力を理解し、ふるさとに愛着や誇りを持ち、地元の発展に貢献できる鯖江の将来を担う人材を育成するため、小学校では地場産業製造体験や施設見学、中学校ではものづくりに関わる企業・事業所の職場体験やデザイン実習など鯖江市が世界に誇る産業への理解を深めたり、関心を高めたりするものづくり教育の推進に尽力した。</p> <p>小学生を対象に公民館等で合宿通学事業を行うなど、地域の子どもは地域で育てるという意識の醸成や地域の教育力の向上に取り組むほか、芸術文化体験事業やふるさとさばえ検定など、郷土の歴史、伝統、文化に触れることにより、子どもたちが郷土に誇りと愛着を持ち、また、その継承・発展の大切さに気付かせるためのふるさと教育の充実に尽力した。</p> <p>公民館等の社会教育施設は、生涯学習の場としてだけでなく、まちづくり・自治振興・防災・福祉等の拠点施設であり、さらには災害時や緊急時の避難所としての重要性を認識し、施設の耐震化工事や耐震補強の整備に尽力した。</p> <p>まなべの館を拠点に芸術、文化の振興を図るとともに、文化遺産の調査を進めて積極的に保存に取り組むとともに、それらを活用して、市民のふるさとに対する愛着と誇りを養うことができるよう、地域文化の発展に尽力した。</p> <p>スポーツ施設の耐震化工事やグラウンド整備を計画的に進め、市やスポーツ協会等が行うスポーツ振興事業、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団の活動を中心とした開放学校の運営、指定管理を含めたスポーツ施設の適切な維持管理など、より充実したスポーツ環境の提供に努め、生涯スポーツ社会の推進のための環境整備に尽力した。</p> <p>平成30年に開催された「福井しあわせ元気国体・しあわせ元気大会」に向け、スポーツの感動を広めるだけでなく、「花いっぱい運動」など市民運動の展開に傾注し、さらに、参加者をおもてなしの心で迎え、本市の魅力やしあわせ元気を感じていただけるよう、市の旗振り役となって尽力し、大会を成功に導いた。また、国体を契機として、体操競技に加え、新たなお家芸競技として「なぎなた選手育成事業」を創設し、全国レベルで活躍できる競技者の強化育成に尽力した。</p>

氏 名	主 な 役 職	功 績 内 容
たつしま たかし 龍嶋 崇	あわら市教育委員会委員 (H20.5.12 ~ R1.5.11)	<p>平成20年5月12日、あわら市教育委員会教育委員に就任し、令和元年5月11日三期目の任期満了をもって退職するまでの十一年間に亘り、あわら市の教育行政の発展に精魂を傾注してきた。</p> <p>温和伶俐で教育者として常に全体の奉仕者たる事を忘れず、自ら教師としての経験で培った高い教育観と実践力をもとに学校教育はもとより社会教育、文化・スポーツの振興に対し、教育行政の運営において功績を遺した。</p> <p>本市の小規模小学校適正規模・適正配置については、定例の教育委員会や総合教育会議などを通して、学校統合する際の課題やその解決に向けた取組等、子どもたちはもとより、地元民の思いを尊重した意見を多数述べられ、統合への足掛かりを築くことに貢献した。</p> <p>教育委員就任期間には、教育水準の維持向上や適切な教育振興を図る目的から、県外の学校や施設等を視察し、小中連携の取組みや外国語教育に関する施策、あるいは学校適正配置などについて研鑽を深めた。</p> <p>さらに、平成20年4月から平成30年3月まで、あわら市学校給食センター運営委員として、学校給食センターの適正かつ円滑な運営に向けて審議や調査に力を注ぎ、特に旧芦原町・旧金津町の学校給食体制を統一し、平成26年1月から現センターの稼働にあたり、施設整備やアレルギーを含む食の安定、地産池消、給食費等についての調査や改善等取り組まれた。</p> <p>平成27年度の新教育委員会制度への移行期に教育委員を務められ、制度改革の大きな柱の一つである「いじめ」に関わる命の問題について、僧職に身を置く自らの体験や思いを兼ね合わせ、命の大切さを学ぶことこそ教育の根幹であることを教育会議などの席上で強く主張した。また、首長との連携も強化され、地域住民の民意を十分に反映する等、あわら市の教育振興に大きく貢献した。</p> <p>平成30年に開催された第七十三回福井しあわせ元気国体および第十八回全国障害者スポーツ大会開催の際は、教育委員としてその成功に陰ながら尽力され、大会期間中は足繁く会場に足を運ばれ、地元子どもたちを共に選手を応援するとともに、大会を支える関係者を労う姿が多くみられた。</p> <p>また、教育長職務代理者として、平成30年から一年間職務を果たされ、リーダーシップを発揮された。この間、中学校「道徳」の教科用図書採択坂井地区協議会の会長も務め、公正な立場で教科書選択に尽力されるなど、教育活動の推進に尽力した。</p>